

平成22年6月定例会 原案可決・全会一致

議会案第2号

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書を別紙のとおり提出するものとする。

平成22年6月23日

提 出 者

郡山市議会文教福祉常任委員会委員長 大 城 宏 之

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書

子宮頸がんを予防するワクチンが日本でも認可され、接種が始まった。

子宮頸がんは、日本の20歳代の女性では乳がんを抜いて、発症率が一番高いがん
で、年間15,000人以上が発症し、約3,500人が命を落としている。その原因は、H P
V（ヒトパピローマウイルス）の感染によるもので、ワクチンで予防できる唯一のが
んである。

H P Vは性交渉で感染するため、性行動を始める前の10歳代の女性がワクチンの対
象となる。注射による3回の接種で4万円～6万円の全額が自己負担となり、公的援
助が不可欠である。

すでに世界では、100カ国以上でこのワクチンが使われ、30カ国以上で公費助成が
行われている。日本でも自治体が独自の助成を開始し、日本産科婦人科学会や日本小
児科学会も、11～14歳の女子に公費負担で接種するよう求めている。

よって、女性のいのちと健康を守るため、国においては、下記事項について実現さ
れるよう、強く要望する。

記

- 1 子宮頸がん予防ワクチン接種に助成を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年6月25日

郡山市議会